

桜花の候 宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部会員に於かれましては、益々
ご清福の段、大慶至極に存じ上げます。

皆様には日頃より当支部運営に際して特段のご高配を賜り、深甚なる敬意を
表すと共に、倍旧のご支援を伏してお願ひ申し上げる次第です。

過ぐる三月二日、十八時より新田原基地司令 荒木空将補、宮崎地本部長
林一空佐、四十三連隊長 藤原一陸佐、元衆議院議員 中山成彬氏等々の錚々
たるご来賓にご臨席賜り、当日参加者十九名、委任状二十二名の賛同を得て、
平成二十三年度 宮崎県防衛協会 宮崎支部総会は盛会裏に終了致しました。

懇親会ではご来賓の方々と支部会員が親しく酒を酌み交わし乍ら、国内外の
防衛問題等を、専門家たる現役自衛官から詳細に拝聴させて戴いたところ です。

翌日は陸上自衛隊生徒「桜友会」全国大会参加のため名古屋に飛び、十二日は
陸上自衛官としては最後の五十五期生徒卒業式に参列すべく、強風の中、山桜
舞う横須賀の武山駐屯地に赴きました。

昭和二十九年当初、少年自衛隊と呼ばれた「自衛隊生徒」は帝国陸軍幼年学校
「陸軍生徒」の流れを汲み、昭和三十八年「少年工科学校」となり、平成二十二年
からは「高等工科学校」と名称を変え、生徒の身分も「自衛官」から「学生」と変わ
りました。が、制服や制度変更はあれど「陸幼」伝統色の緋色は連綿と引き継がれ、
襟や袖口、肩章、そしてネクタイ等に今もその名残を留めています。

さて北朝鮮は同十六日、金日成主席生誕百周年前後の四月十二日〜十六日の
間に、地球観測衛星ロケット「銀河三号」を極軌道に投入すると発表しました。

日本政府は同二十七日防衛会議を開き、田中防衛相が自衛隊に対して準備命
令を発令し、これを受けた各自衛隊は沖繩本島及び石垣島や宮古島に、空自の
PAC3を配備、又海自はSM3搭載のイージス艦を沖繩本島付近、先島諸島
南方、日本海の三地点に配置展開中とのマスコミ報道はご存じの通りです。

更に政府は三十日、野田首相を議長に安全保障会議を開催後、田中防衛相が
北朝鮮ミサイルの破壊措置命令を発令する手筈で、北朝鮮のミサイルの精度が
非常に悪い為、首都圏にまでPAC3を配備すると言うおまけ付きでした。

影響は宮崎に迄及び、四月六日開催予定の新田原基地の観桜会が中止となり、
楽しみにしていた多くの関係者は「金正恩」に怒り心頭かも知れません。(笑)

また同十八日は私の原隊である三十二連隊創立五十周年式典が大宮駐屯地で
花曇りの下盛大に挙行され、曾ての戦友達と大いに旧交を温め合いました。

早稲田大学校歌三番に「集まり散じて、人は変われど」との一節がありますが、
変えねばならぬものと、変えてはならぬものをつかり見極めつつ、日本の
歴史や伝統を後に続く者達に、確実に引き継がせねばならぬと考える昨今です。

平成二十四年四月一日

宮崎県防衛協会

青年部会

宮崎支部長

小倉和彦

